



カタカタ通信

第4号

「ゆっくり練習中」

2022年 1月10日

あけましておめでとうございます。

今年はいよいよコウノトリ野生復帰センター オープンイヤーです！
現在は、オープンに向けてコウノトリが新しい展示環境に慣れるよう
少しずつ練習しています。

センターでは、窓ガラス越しにコウノトリを観察することができますが、以前は窓ガラスのない環境で飼育をしていました。鳥は窓ガラスに反射した空やガラス越しに向こうの景色が見えると、ガラスがあるとわからず衝突することがあります。

コウノトリが窓ガラスに衝突しないよう、ここは壁であると認識してもらう必要があるため、飼育当初から徐々に慣れさせる練習をしていました。



飼育当初は窓の外にネットがありました



最初は、カーテンを閉め窓ガラスの外側はネットで覆い、コウノトリが新しい環境に慣れるまでそっとしていました。その後、3カ月間は徐々にカーテンを開け、人が来ても問題がないとわかるよう練習を行ってきました。

そして、いよいよ12月下旬にネットを開け、窓ガラスに直接近づけるような環境にし、様子を観察していました。

ネットがある頃は、ネット際まで来ることが多かったですが、取り外すとなかなか窓際に近づくことはありません。この辺りはやはり、好奇心よりも警戒心が勝るようです。それでもオスは、その日のうちに窓の近くまで様子を見に来ていました。メスはオスよりもやや警戒しているようで、近づくことはありません。

1週間もすると、2羽で窓際へ近づくようになり、逆にこちらが観察されているような気分です、、、。



こちらが観察されているような



2羽で窓際を探索中

鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
飼育担当：佐藤

